

取付作業者用

お客様用



キーレスエントリー取付説明書・取扱説明書

このたびは、スズキ純正用品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
 本書はキーレスエントリーの取付方法について記載しています。
 取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行ってください。
 本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取付けられたものについては、
 取付作業者の責任となります。取付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

安全に関する表示

この取付説明書・取扱説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

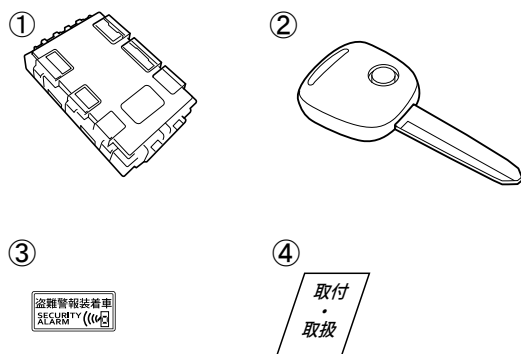
警告、**注記**、**アドバイス**のところは、とくにしっかりお読みください。

 警告	取付け、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取付け、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
 アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

品番および適用車種

品番	適用車種	適用年式
99000-99063-01D	DA17V	2015年2月～

構成部品

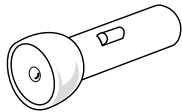


図中 番号	品名	数量
①	BCM	1
②	ブランクキー	1
③	セキュリティラベル	1
④	取付・取扱説明書（本書）	1

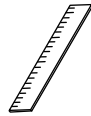
取付けに必要な工具類



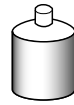
精密ドライバー



懐中電灯



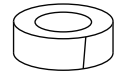
定規



脱脂剤



ウエス



ビニールテープ

取付け上の留意事項

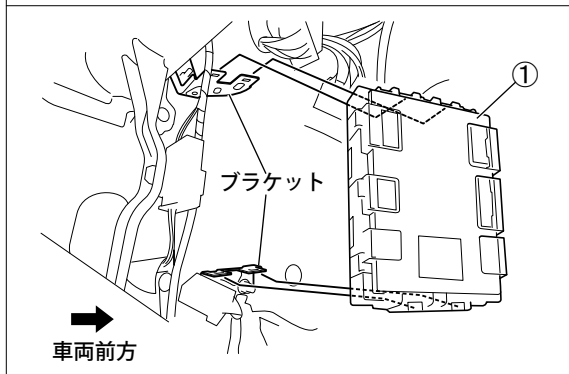
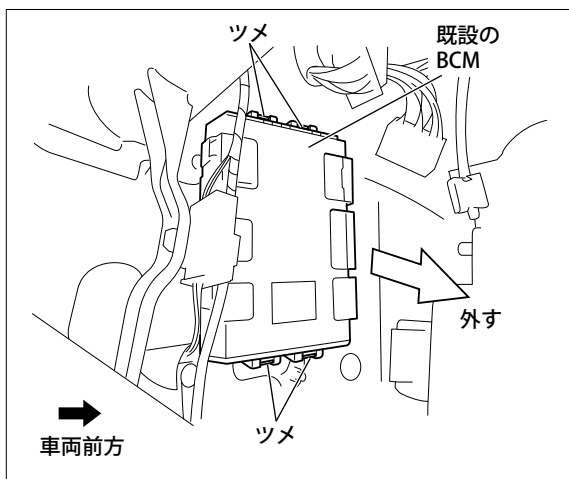
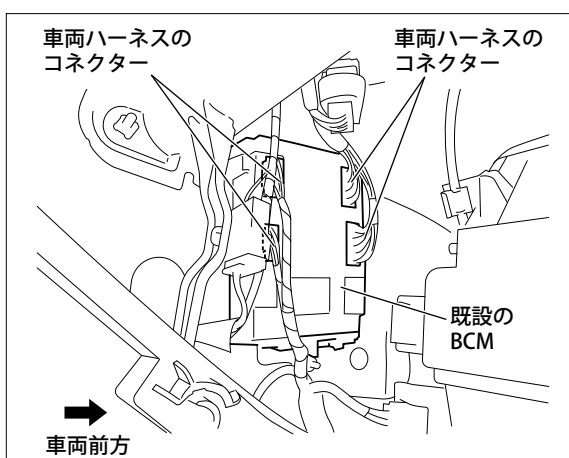
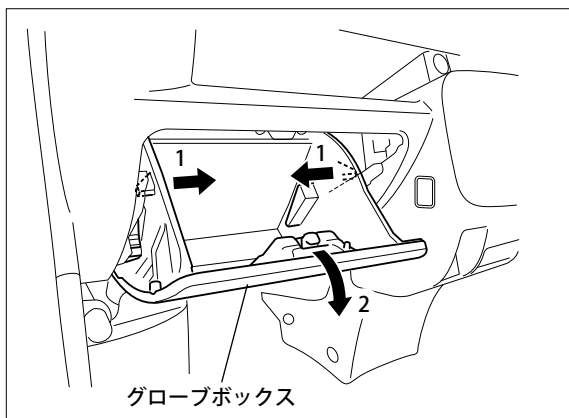
注 記

- 取付け作業の前に、必ずバッテリーの⊖側コードを外してください。また⊖側コードは⊕側コードと接触しないようにしてください。
- ハーネス類は強く引っばらないでください。ハーネスの損傷の原因となります。
- 取付け手順に従い慎重な作業をお願いします。

取付け準備作業

1. 取付け作業は、平坦で安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作してください。
2. 取付け作業中の車は、エンジンを停止しエンジンキーを取り外してください。
3. 構成部品および部品点数が本書どおりになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認してください。

取付要領



取付作業

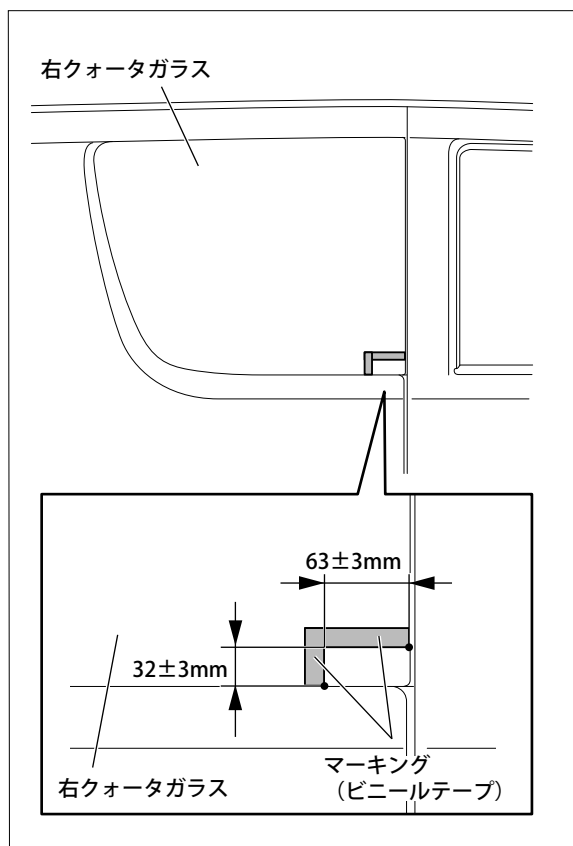
- (1) グローブボックスを取り外してください。
- (2) グローブボックス左外側にある既設のBCMから車両ハーネスのコネクター（4個）の接続を外してください。
- (3) ツメ（4箇所）を取り外し、既設のBCMを取り外し、BCM①を取り付けてください。

注記

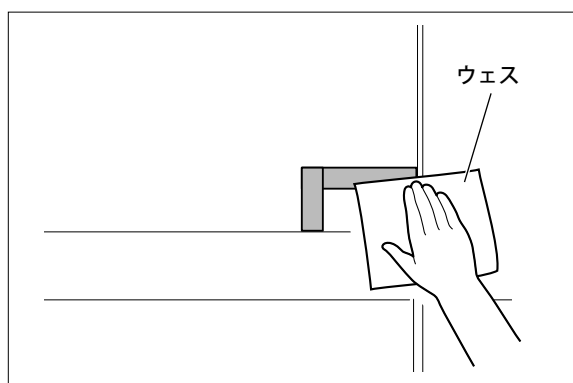
BCM①を取り付けた際、ツメ（4箇所）が確実に掛っていることを確認してください。
- (4) (2) で取り外した車両ハーネスのコネクター（4個）をBCM①に接続してください。

注記

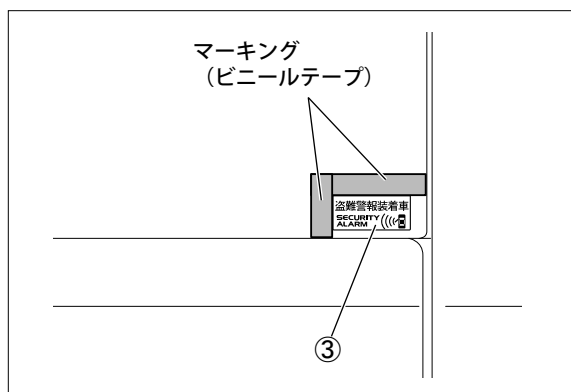
コネクターの接続作業は、端子を損傷させないように慎重に行ってください。
- (5) グローブボックスを復元してください。
- (6) バッテリーを外すことにより初期設定に戻るもの、データの消えるものを再入力してください。



(7) 右コータガラス下部の図に示す位置にマーキング (ビニールテープ) を貼り付けてください。



(8) ガラスの汚れを脱脂剤およびウェスにて拭き取ってください。



(9) 離型紙をはがし、セキュリティラベル③を貼り付けてください。

注 記

空気が入らないように端から貼り付けてください。

(10) マーキング（ビニールテープ）をきれいにはがしてください。

blankキーの加工方法

(1) blankキー②をキーカッターマシンの設置されている最寄の代理店にて加工してください。

注 記

お車をお買い上げの際に、付属されているプレートのキーナンバーを基に加工してください。

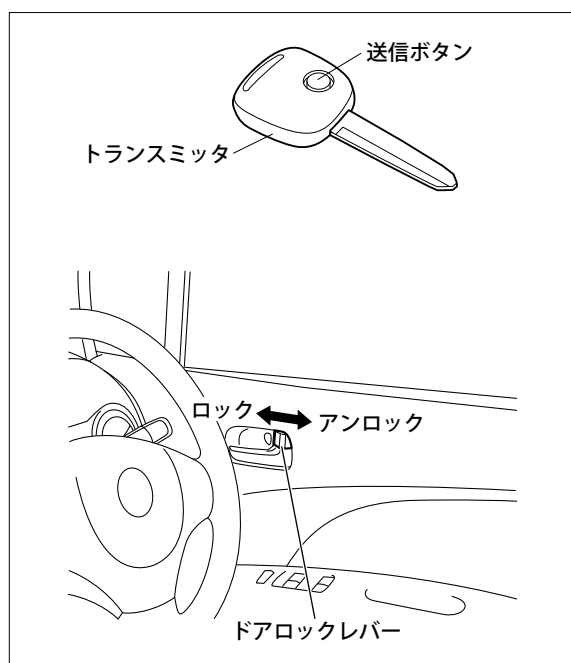
暗証コードの登録方法

注記

- 登録操作は下記の手順に従い、指定の時間以内に終わらせてください。
- トランスミッタの紛失により、新しいトランスミッタを登録する場合は、紛失したトランスミッタのコードが消去されるまで、登録操作を繰り返し行ってください。

アドバイス

- 1回の登録作業で暗証コードを1種類登録することができ、合計4種類の暗証コードを登録することができます。
- 4種類の暗証コードが既に登録されている時に、別のコードを登録すると最も古い暗証コードが消去されます。
- 手順ごとの指定時間以内に作業が終わらなかった場合、登録操作中に運転席以外のドアを開けた場合には、暗証コードは登録されないまま、登録モードは解除されます。



- (1) 車両を初期状態にします。
 - イグニッションSWからキーを抜いた状態にしてください。
 - 全てのドアを閉めてください。
 - 運転席ドアロックレバーをアンロック状態にしてください。
- (2) 運転席ドアを開けてください。
- (3) イグニッションSWをキーに挿入し、イグニッションをOFF→ON→OFFしてキーを抜いてください。(手順(2)～(3)は10秒以内に行ってください。)
- (4) キーを抜いてから20秒以内に運転席ドアを3回閉→開(ドアSW OFF→ON)してください。
- (5) 手順(4)終了後10秒以内に、再度、手順(3)を行ってください。
登録モードに入るとドアロックがロック・アンロックの順に出力されます。
- (6) キーを抜いてから20秒以内に登録するトランスミッタの送信ボタンを押してください。BCM①がトランスミッタからの信号を受信するとその暗証コードを登録し、ドアロックがロック・アンロックの順に作動します。

アンサーバック機能切替

アンサーバック機能切替は、切替登録を行うことによりルームランプ点滅によるルームランプアンサーバック又はハザードランプ点滅によるハザードアンサーバックに切り替えることが可能です。

注記

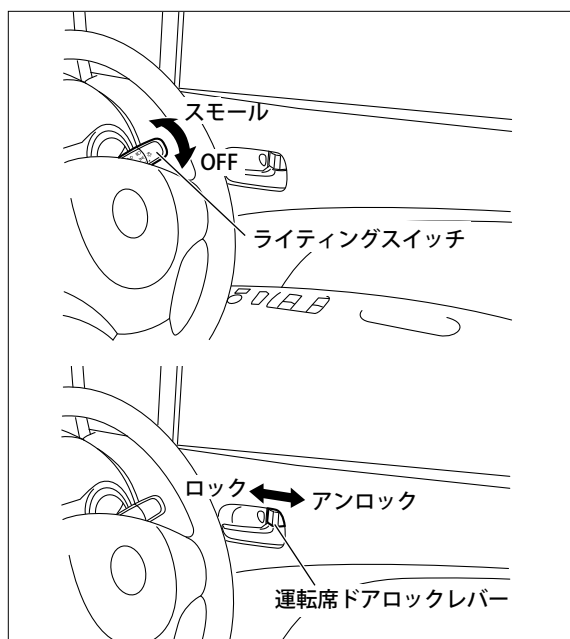
機能の切替は、SDT-IIを使用して行ってください。

セキュリティアラーム機能切替

セキュリティアラーム機能切替は、切替登録を行うことによりセキュリティアラームを作動又は非作動に切り替えることが可能です。

注記

- ・登録操作は下記の手順に従い、作業は15秒以内にて行ってください。
- ・15秒以内に作業が終わらなかった場合には、再度はじめからやり直してください。
- ・切替登録中にドアを開ける等、不必要な操作をすると切替モードはキャンセルされます。



※切替方法

- (1) 全てのドアを閉めて、イグニッションSWからキーを抜き、アンロックおよびライティングSWをOFF状態にしてください。
- (2) ライティングスイッチをスモール→OFF→スモール→OFF→スモール→OFF→スモール→OFFの順に操作してください。
- (3) 運転席ドアロックレバーをロック→アンロック→ロック→アンロック→ロック→アンロックの順に操作してください。
- (4) BCM①が切り替わった状態に応じて車内のブザーを鳴らします。
 - ・4回吹鳴：非作動→作動
 - ・1回吹鳴：作動→非作動

注記

セキュリティアラームは『作動』に設定してください。

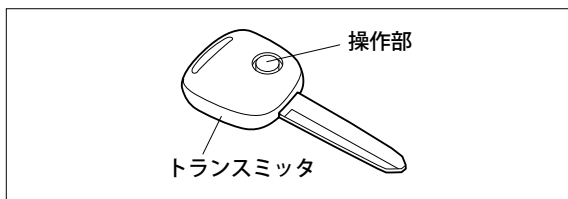
取付及び登録完了後の点検項目

- (1) 全てのドアを閉めて、イグニッションSWからキーを抜いた状態にしてください。
- (2) 加工したブランクキー②の送信ボタンを押し、全てのドアロックモータが作動することを確認し、ルームランプアンサーバック又はハザードアンサーバックが作動することも確認してください。
- (3) 加工したブランクキー②の送信ボタンを押してドアをロックし、コンビネーションメーター液晶部左側のセキュリティアラームインジケータが約20秒間早い点滅をすること、また、その後ゆっくりと点滅することを確認してください。
- (4) 既存のキー又は、加工したブランクキー②でドアロックをアンロックしてドアを開けると警報が作動する（ハザードランプが点滅し、車内のブザーとホーンが鳴る）ことを確認してください。
- (5) セキュリティアラームの警報が作動中にイグニッションSWをONにすると警報が停止することを確認してください。

注 記

- ルームランプSWがDOOR位置以外の場合は、アンサーバック機能によるルームランプの点灯点滅は行いません。
- 下記の条件下ではキーレスエントリーによるロック又はアンロックを行うことができません。
 - キー SW ON：イグニッションSWにキー挿入時（安全機能）
 - ドアが開いている場合（安全機能）
- 作動範囲は車両中心から約2m以内ですが、TV塔や発電所、放送局の近くや周囲の状況、電波ノイズにより作動距離が短くなることがあります。
- ドアをキーレスエントリーによりアンロック後30秒以内にドアを開けなかった場合には、自動的にロックされます。（タイマーロック機能）

キーレスエントリーの取扱方法



車から約2m以内の範囲でトランスミッタの操作部を押すと、すべてのドアを施錠・解錠できます。

警告

火災や盗難などの事故防止のため、車から離れるときは、エンジンを止めてドアを施錠してください。

注記

- ・施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。
- ・トランスミッタは、インパネの上など高温になる場所に置かないでください。
- ・トランスミッタを落下させるなどして、強い衝撃をあたえないでください。
- ・トランスミッタを水洗いしたり、水中に入れたりしないでください。

アドバイス

- ・いずれかのドアが開いていると、キーレスエントリーで施錠できません。
- ・エンジンスイッチからキーを抜き忘れていると、キーレスエントリーが作動しません。
- ・キーレスエントリーの作動距離は、周囲の影響で変わることがあります。また、強い電波などが発生している場所では、キーレスエントリーが作動しないことがあります。
- ・少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。
- ・トランスミッタでドアの施錠・解錠ができないときは、キーを使って施錠・解錠をしてください。
- ・トランスミッタが正しい距離で作動しないときは、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。
- ・トランスミッタの操作部を必要以上に押すと、電池の消耗が早まります。

●アンサーバック機能

キーレスエントリーによるドアの施錠・解錠を知らせる機能です。切替登録を行うことにより、ルームランプアンサーバック又はハザードアンサーバックに切り替え可能です。

アンサーバック機能	ハザードランプアンサーバック		ルームランプアンサーバック	
	ロック（施錠）	アンロック（解錠）	ロック（施錠）	アンロック（解錠）
非常点滅灯	1回点滅	2回点滅		
室内灯 (スイッチがDOOR位置) ※1		約10秒間点灯 ※2	2回点滅	約10秒間点灯 ※2

※1 キーレスエントリーの作動と同時に室内灯を点灯または点滅させたい場合は、室内灯スイッチをDOOR位置にしてください。

※2 室内灯が約10秒間点灯したあとは、徐々に減光させながら消灯します。

●タイマーロック機能

盗難防止のため、自動的にドアを施錠する機能です。

- ・キーレスエントリーで解錠したあと、約30秒以内にいずれのドアも開けなかったときに作動します。
- ・タイマーロック機能が作動すると、セキュリティアラームが自動的にセットされます。(セキュリティアラーム非作動時を除く)

セキュリティアラームの取扱方法

セキュリティアラームは、ドアをキーレスエントリーで施錠すると、約20秒後にセットされます。セットされた状態で、キーレスエントリー以外（キーやロックレバーを含む）で解錠し、いずれかのドアを開けると、警報が作動して周囲に異常を知らせます。

👉アドバイス

- セキュリティアラームは、一定の条件下で警報を発する機能です。室内への侵入を防ぐ機能はありません。
- アラームのセット中は、ドアを必ずキーレスエントリーで解錠してください。キーを使ってドアを解錠すると、警報が作動します。
- お車を貸すときや、セキュリティアラームを知らない方が運転するときは、作動についてよく説明するか、アラームを〈非作動〉に切り替えてください。誤って警報を作動させると、周囲への迷惑になります。
- アラームをセットしていても、現金や貴重品を車内に放置しないでください。盗難のおそれがあります。

●セキュリティアラームのセットのしかた

ドアをキーレスエントリーで施錠してください。メータ内のセキュリティアラームインジケータが小刻みに点滅し、約20秒後にアラームがセットされます。

セット中は、セキュリティアラームインジケータが約2秒間隔で点滅します。

👉アドバイス

- 警報の思わぬ作動を防ぐため、車内に人が残っているときはアラームをセットしないでください。車内の人ロックレバーで解錠し、ドアを開けた場合にも警報が作動します。
- すべてのドアをキーまたはロックレバーで施錠すると、アラームがセットされません。
- タイマーロック機能が作動すると、アラームが自動的にセットされます。（非作動時を除く）

●セキュリティアラームの解除のしかた

キーレスエントリーでドアを解錠してください。アラームが解除され、セキュリティアラームインジケータが消灯します。

●警報の停止のしかた

警報を誤作動させたときは、エンジンスイッチを **ON** にしてください。警報を途中で停止できます。

👉アドバイス

- 警報を停止した場合でも、ドアをキーレスエントリーで施錠すると、約20秒後にアラームが再セット状態となります。
- アラームセット状態、または警報作動状態でバッテリー端子を外すと、警報が停止します。ただし、再度バッテリー端子を接続すると、警報が作動します。
- 警報が終了しても、アラームの解除をせずにドアを開けると、再び警報が作動します。

●駐車時に警報が作動した場合

盗難などにより警報が作動した場合、エンジンスイッチを **ON** にすると、セキュリティアラームインジケータが約8秒間小刻みに点滅し、室内ブザーが4回鳴ります。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。

取付完了後の点検

復元完了後、イグニッションSWを「ON」にしてメータのエアバッグ警告灯が数秒点灯後、消灯すること、また、各電装品が正常に作動することを確認してください。

注 記

異常がある場合はコネクタの接続が正常か確認し、なおも異常がある場合はサービスマニュアル整備編を参照し、診断を行ってください。